

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【公開番号】特開2015-107414(P2015-107414A)

【公開日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2015-038

【出願番号】特願2015-47471(P2015-47471)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 5 2 F
A 6 3 F	7/02	3 5 2 L
A 6 3 F	7/02	3 3 6
A 6 3 F	7/02	3 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月22日(2015.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機と、該遊技機と通信可能に接続され、遊技者所有の遊技用価値を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置とを備える遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

前記持点を記憶する持点記憶手段と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口と、

該挿入排出口に挿入されて受付けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作に応じて、前記対応付け処理を行なうことなく前記受付けられている記録媒体を前記挿入排出口から排出するとともに、前記所定数を前記持点記憶手段に記憶されている持点から減算し、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する共有処理を実行し、前記持点記憶手段に記憶されている持点が前記所定数に共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保数を加算した値よりも少ないときには前記持点共有を禁止する、遊技用システム。

【請求項 2】

持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機と、該遊技機と通信可能に接続され、遊技者所有の遊技用価値を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置とを備える遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

前記持点を記憶する持点記憶手段と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口と、

該挿入排出口に挿入されて受けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点から前記所定数と共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保数とを減算した残りの持点を算出し、前記挿入排出口に挿入されて受けられた前記記録媒体を前記残りの持点に対応付ける対応付け処理を行なって前記挿入排出口から排出するとともに、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する共有処理を実行する、遊技用システム。

【請求項 3】

持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機と通信可能に接続するための接続部を備え、遊技者所有の遊技用価値を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置とを備える遊技用装置であって、

前記持点を記憶する持点記憶手段と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口と、

該挿入排出口に挿入されて受けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作に応じて、前記対応付け処理を行なうことなく前記受け付けられている記録媒体を前記挿入排出口から排出するとともに、前記所定数を前記持点記憶手段に記憶されている持点から減算し、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する共有処理を実行し、前記持点記憶手段に記憶されている持点が前記所定数に共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保

数を加算した値よりも少ないときには前記持点共有を禁止する、遊技用装置。

【請求項 4】

持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機と通信可能に接続するための接続部を備え、遊技者所有の遊技用価値を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置であって、

前記持点を記憶する持点記憶手段と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口と、

該挿入排出口に挿入されて受けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点から前記所定数と共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保数とを減算した残りの持点を算出し、前記挿入排出口に挿入されて受けられた前記記録媒体を前記残りの持点に対応付ける対応付け処理を行なって前記挿入排出口から排出するとともに、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する共有処理を実行する、遊技用装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(1) 持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機(パチンコ機2)と、該遊技機と通信可能に接続され、遊技者所有の遊技用価値(プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数)を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置(カードユニット3)とを備える遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

前記持点を記憶する持点記憶手段(「遊技玉数」を記憶する制御部323のRAM)と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体(カード)の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口(カード挿入/排出口309)と、

該挿入排出口に挿入されて受けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段(制御部323)と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段(図27のカード返却の処理)と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作（図55；持玉共有指定）に応じて、前記対応付け処理を行なうことなく前記受付けられている記録媒体を前記挿入排出口から排出するとともに（図55；カードA（持玉=0）を返却）、前記所定数を前記持点記憶手段に記憶されている持点から減算し（図55；遊技玉=3800を遊技玉=2800にし）、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する（図55；カードB（持玉=1000）返却）共有処理を実行し、前記持点記憶手段に記憶されている持点が前記所定数に共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保数を加算した値よりも少ないとときは前記持点共有を禁止する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

（4）持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機（パチンコ機2）と、該遊技機と通信可能に接続され、遊技者所有の遊技用価値（プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数）を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置（カードユニット3）とを備える遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

前記持点を記憶する持点記憶手段（「遊技玉数」を記憶する制御部323のRAM）と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体（カード）の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口（カード挿入／排出口309）と、

該挿入排出口に挿入されて受付けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段（制御部323）と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段（図27のカード返却の処理）と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作（図57；持玉共有指定）に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点から前記所定数と共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保数（図57；担保玉200）とを減算した残りの持点を算出し、前記挿入排出口に挿入されて受付けられている前記記録媒体を前記残りの持点に対応付ける対応付け処理を行なって前記挿入排出口から排出するとともに（図57；カードA（持玉=3800）返却）、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する（図57；カードB（持玉=1000）返却）共有処理を実行する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

(8) 持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機(パチンコ機2)と通信可能に接続するための接続部(コネクタ330、20、接続配線)を備え、遊技者所有の遊技用価値(プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数)を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置(カードユニット3)であって、

前記持点を記憶する持点記憶手段(制御部323のRAM)と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体(カード)の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口(カード挿入/排出口309)と、

該挿入排出口に挿入されて受付けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段(制御部323)と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段(図27のカード返却の処理)と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作(図55;持玉共有指定)に応じて、前記対応付け処理を行なうことなく前記受付けられている記録媒体を前記挿入排出口から排出するとともに(図55;カードA(持玉=0)を返却)、前記所定数を前記持点記憶手段に記憶されている持点から減算し(図55;遊技玉=3800を遊技玉=2800にし)、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する(図55;カードB(持玉=1000)返却)共有処理を実行し、前記持点記憶手段に記憶されている持点が前記所定数に共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保数を加算した値よりも少ないときには前記持点共有を禁止する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

(11) 持点による遊技が可能であり、入賞の発生に応じて持点が加算される遊技機(パチンコ機2)と通信可能に接続するための接続部(コネクタ330、20、接続配線)を備え、遊技者所有の遊技用価値(プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数)を用いて該遊技機での遊技を可能にする遊技用装置(カードユニット3)であって、

前記持点を記憶する持点記憶手段(制御部323のRAM)と、

遊技者所有の遊技用価値が対応付けられている記録媒体(カード)の挿入および排出を行なう1つの挿入排出口(カード挿入/排出口309)と、

該挿入排出口に挿入されて受付けられた前記記録媒体に対応付けられている遊技者所有の遊技用価値を引落として前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算するとともに、前記遊技機で入賞が発生することにより前記持点記憶手段に記憶されている持点に加算し、さらに、遊技に使用される持点を減算する持点加減算手段(制御部323)と、

遊技終了操作に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点を前記挿入排出口に挿入されている前記記録媒体に対応付ける対応付け処理を行なって該記録媒体を前記挿入排出口から排出する記録媒体処理手段(図27のカード返却の処理)と、

遊技への使用および入賞の発生に応じた持点の変化量を特定可能な更新情報を前記遊技機より受信する情報受信手段とを含み、

前記持点加減算手段は、前記持点記憶手段が記憶している持点を前記更新情報に基づいて加減算更新し、

該記録媒体処理手段は、前記持点記憶手段に記憶されている持点のうち所定数の持点を他の遊技者の遊技に使用可能にする持点共有の指定操作（図57；持玉共有指定）に応じて、前記持点記憶手段に記憶されている持点から前記所定数と共有処理中に遊技を可能にするために確保しておく確保数（図57；担保玉200）とを減算した残りの持点を算出し、前記挿入排出口に挿入されて受け付けられている前記記録媒体を前記残りの持点に対応付ける対応付け処理を行なって前記挿入排出口から排出するとともに（図57；カードA（持玉=3800）返却）、前記所定数の持点を対応付けた記録媒体を前記挿入排出口から排出する（図57；カードB（持玉=1000）返却）共有処理を実行する。